



十勝川治水100年
トークリレー 100年 ⑮

私たち帯広工業高校環境土木科は、教育プログラムの一環として河道の整備や、環境の変化に伴い消失していく自然環境の再生に向けた環境教育、生態調査など、河川環境の保全に関する取り組みを行ってきました。

十勝川を含めた全国の河川は、私たちの生活において重要な役割を果たしています。私たちは河川・樹林・海など自然に囲まれ生活しています。しかしその自然は、一変すると私たちの生活環境に甚大な被害をもたらします。自然と隣り合わせて暮らしている私たちが、自然どうまく付き合っていくためにも治水の技術は必要不可欠だと考えます。

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



帯広工業高校 環境土木科
菊地 李空さん
池田 惺蘭さん



十勝毎日新聞
令和5年8月16日 3面 掲載

帯広工業高校
環境土木科

菊地李空さん 池田惺蘭さん



菊地さんと池田さん（左から）

生態調査で川と密接に

習で一番印象に残っているのは、札内川流域の生態調査です。私たち自身、動物や植物などの生き物にとっても興味があり、より関心を持って取り組むことができました。川の中に入り、直接観察できた

この歴史ある十勝川の環境活動に携われることを光栄に思います。生態調査や環境学習を通し、より自然と密接に関われたことで、河川が私たちにもたらしてくれる恵みや与える影響などを知ることができ、これからの治水事業の発展に興味や関心を持つことができました。今後、このような経験や活動してきたことを生かし、進路活動などに取り入れていければと思います。

最後に、今後もこのような活動を継続していき、より良い環境づくりに貢献していければと思います。

十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。

（随時掲載）

